

科目名 基礎看護学実習Ⅲ	授業担当者 清水 有香	所属 中通高等看護学院
開講時期 :前期	単位数 :2 単位	時間数 :80 時間
授業の目的 対象の病態生理を理解した上で看護実践し、気づき・解釈・反応・省察のプロセスを通して臨床判断能力の基礎を養う。		
授業の概要 本実習では、その場その場の患者の状態を判断し実践できる能力を養うため、気づき・解釈・反応・省察のプロセスを通して臨床判断の基礎を学ぶ実習である。「看護師のように考える」ことをめざし、対象への「今」一番必要な看護を実現するための思考を学ぶ。 患者一人を受け持ち、情報獲得しながら関連図を作成し、全体像を把握する。患者目標(ゴール)を決定、看護の方向性を明確化し、対象に起こりうる問題を理解した上で、行動予定を立て看護実践する。その際の気づき・解釈・反応・省察をする。臨床指導者・教員との実践から「何に気づき、どう解釈し、どのように行動しているか」、看護師の思考過程が学べるようにしていく。 実習ポートフォリオを作成し、自ら考えて学んだ内容を時系列で入れていくことで、学習や自分目標(ゴール)への成長プロセスを可視化し、成長報告により価値ある成長と願望を確認する。		
受講上の注意・事前学習の内容 注意点・事前学習の内容は、実習要綱・実習ガイダンス参照。		
授業計画 1.日程・実習場所は、ガイダンスに準じる。 2.自分目標(ゴール)、事前学習を入れた実習ポートフォリオを作成する。 3.患者情報を記録用紙に整理し、患者目標(ゴール)、学習内容を実習ポートフォリオに入れる。 4.患者の全体像を把握し、看護の方向性、起こりうる問題から行動予定を立てる。 5.看護実践し、気づき・解釈・反応・省察したことを記録用紙4にまとめる。 6.記録用紙4を用いて臨床判断の学びカンファレンスを行い、グループで交流する。 7.実習で獲得したことや学び(ゴール)のプロセスをプレゼンテーションし、成長確認する。		
テキスト 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術プラクティス 第4版 学研 ブックライブラリー 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院 ブックライブラリー 緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図 医学書院 ブックライブラリー 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図 医学書院		
参考書・指定図書 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア 看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版 メディックメディア 看護が見える vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア		
評価の方法 実習評価表に基づいて評価する。		

*この科目は実務経験のある教員による科目となります